ボーリング柱状図

調　査　名　一般県道宮ノ口瀬戸線外　道路災害防除事業(法面対策)業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Boring No.1	調査位置	広島県呉市倉橋町宮ノ口			北緯	34° 3' 26"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			調査期間	平成 30年 5月 16日 ～ 30年 5月 18日	東経	132° 31' 33"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP= 6.33m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 47°	使用機種	試錐機	東邦D-1	ハンマー落下用具	自動落下
総掘進長	5.00m								エンジン	ヤンマーNFD12-K	ポンプ	東邦BG-2

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事		孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
1	4.73	1.60	1.60		礫まじり砂	暗茶褐	中ぐらい		崖錐堆積物。 GL-0.30m付近まで木草根の混入が認められる。 全般的に緩く軟質な層である。 GL-1.2m付近より岩組織を示す風化礫が認められる。	現世	5/17 1.30 5/18 1.82	1.15	5	5	6	16/30	16			1.15				5/17
2	3.83	0.90	2.50		花崗岩	暗茶褐	密な		花崗閃緑岩。 上位の崖錐堆積物との境は不明瞭である。 コアは指圧にて容易に崩れ、小礫まじり砂状を呈する。 黒雲母の風化変質が著しい。 岩質区分は土砂に相当する。	中生代古第三紀～白亜紀		1.45 2.15	10	16	22	48/30	48			1.45 2.15	P-1 P-2	Ⓟ Ⓟ		
3	3.08	0.75	3.25		花崗岩	暗茶褐			花崗閃緑岩。 コアの硬軟の差が著しく、硬質部はCM級、軟質部は砂質土程度である。 亀裂面は褐色に変質している。 岩質区分は軟岩Iに相当する。			2.45 3.00	貫入不能			50/0				2.45				
4	1.33	1.75	5.00		花崗岩	暗青灰			花崗閃緑岩。 コアは硬質であるが、潜在亀裂が認められ亀裂面より容易に剥離しやすい。 亀裂面に薄く土砂を挟む箇所が認められる。 開口した亀裂面に変色が認められる。 岩質は軟岩IIに相当する。			4.00	貫入不能			50/0								5/17
5												5.00	貫入不能			50/0								5/18
6												6.00												
7																								
8																								
9																								